

二学年通信

第14号
令和元年12月2日(月)

ついに師走! 今年も残り1カ月、学校生活に集中しよう!

★2学期の期末テストも先週で終了し、今週から12月に入りました。改元のあった令和元年も残り約1カ月。よく年末になると「今年の10大ニュース」などという記事を新聞で見かけますが、皆さんの10大ニュースは何でしょう? 修学旅行? 部活動?

それともプライベートなことでしょうか? 栄えある第1位に選ばれる話題は人によって様々ですが、今年はまだ終わったわけではありません。以下に記しますが、今月はまだまだ行事や取り組みがあります。今年をじっくり回想するのはもう少し後にまわして、まずは残り1カ月の学校生活を集中して取り組んでほしいと思います。そのためには、期末テスト前に良い学習の流れを作れた人はそれを途切らせることなく、そして、作れなかった人は早急に立て直しを図ることが必要です。いずれにせよ令和元年の有終の美を飾るべく、今年の10大ニュースに悪い事項が加わることがないように毎日を過ごしてください。

①大学出張講義…12月3日(火)第5・6・7校時。この日は県内の群馬大学や県民健康科学大学などを始めとして、関東近県から國學院大学や芝浦工業大学、獨協大学など、遠くからは新潟大学など、のべ11の国公立大学の先生方を講師としてお招きし、模擬講義の形をとりながら各専門分野で学ぶことや将来の職業に関することなどを学んでもらいます。すでに皆さんには出席する2つの講座を選んでもらっていますが、なかなかこういう機会は普段は得られないので、物心共にしっかり準備をして臨んでください。

②サタデープラン(GTEC)…7日(土)のサタデープランでGTECを実施します。GTECについては皆さんは去年に受験しているので、今さら説明する必要はないでしょう。英語の資格にもなりますから、真剣に取り組んでください。大学入試の新共通テストにおける英語の外部(民間)試験利用は、皆さんも知ってのとおり延期(中止)になってしまいましたが、英語が必要であるという現実が変わってはいません。むしろ、その重要性は高まったと言えるでしょう。「ああ、良かった。もう英語なんて勉強しなくてもいいんだ。」などと考えず、前向きに取り組んでください。

③国際交流・台北市立西松高級中学来校…前号でも少し触れましたが、10日(火)に台北から西松高級中学の訪問団41名が来校します。当日は全学年で歓迎会を行った後、2年の各クラスに分散して交流会となります。詳細はまだ未定ですが、これから生徒会と国際交流委員を中心に準備を進めていくこととなります。修学旅行後のアンケートでも、学校交流が最大の思い出になったという人が大勢いました。相手校(文華高級中学)の人たちの熱烈歓迎のおかげだと思います。西松高級中学の人たちにも同じ思いをしてもらえるように、皆さんひとりひとりがおもてなしの心を持って交流してください。

④人権教育…12日(木)のLHRで、人権教育を行います。これは12月4日から始まる「人権週間」に併せたものですが、当日は人権啓発映画を見てもらった後、感想文を書いてもらいます。去年、この学年通信で「長崎の鐘」の永井隆博士のお話を紹介しましたが、憶えていますか?



他人の人権を守るということは、結局は「自分の人権」を守ることでもある、とそこで記しましたが、そのことをよく考えて、人の痛みが理解できる人間に育ってください。

⑤冬休み&冬季講座…2学期終業式が24日(火)で、翌25日(水)から冬季休業(冬休み)となります(1月7日(火)まで。なお、今年の12月23日は、もう祝日(天皇誕生日)ではないので、学校はあります。間違えないように!)。その冬休みの前半25日(水)~27日(金)の3日間には冬季講座が行われます。本日、案内の用紙が配布されました(10日(火)が申込締切)。基本的には希望者対象ですが、自分たちは受験生だという自覚を高くもって、1人でも多くの人が参加しましょう。

12月5日(木)は小論文模試、新聞をどんどん読むべし!

★そのほかにも12月5日(木)の7校時に、小論文模試を実施します。1年生でも小論文模試は受験しましたが、今回も同様に、事前に「チャレンジノート」で予習し、模試実施後は来月1月にリライトを実施します。

さて、年に一度の小論文模試ですが、その程度ではなかなか論理的思考や文章表現など小論文の力そのものは身につかないでしょう。小論文の力をつけるには、一時的な学習をしても効果は上がりません。国語教師として常々感じていることですが、しっかりした文章の書ける人は読書量が多い、という傾向がやはりあります。つまり「文章慣れ」している、ということです。良い文章を作るためには、単に「書く」能力だけでなく、文章を「読んで、考える」能力が必要となってきます。普段から多くの文章に慣れ親しんでいる人は、自然にその能力が身につけている、というわけなのでしょう。皆さんが来るべき大学受験に対応し得る小論文を書けるようになるためには、「読んで、考えて、書く」能力を身につける作業を今後はしなくてはなりません。そのために有効なのが新聞を読むこと。新聞に目をとおすことで、「読む」力が身につくだけでなく、そこに載っている情報を自分の知識として蓄えることができます。小論文では自分の意見を論理的に展開することが求められますが、高校生の持っている知識・情報など個人の体験に基づくものに偏重気味で、たかがしれています。万人を納得させるような意見を述べるためには広範な知識が必要ですが、それを補ってくれるのが新聞でもあるのです。短時間でも自分の専門分野に関わる記事だけでもいいから、新聞を毎日読む、ということを習慣としてください。それが自分自身のためになるのです!



今年も冬が始まるよ…温風ヒーター使用&交通事故注意

★関西では木枯らし1号が吹きました。暦の上でももう冬となっています。今週から、教室の温風石油ヒーターが使用開始となりました。規定を遵守して、高校に入って2度目だと油断せず、正しく使用してください。さらに、冬になると交通事故も増えてきます。寒さで集中力が落ちたり、登校時は寒いので家を出るのが遅くなって焦ったり、下校時は日没が早くなって見通しが悪い上に無灯火運転をしたり、などという悪要因が重なるのも事故多発を助長しています。県内の高校生の死亡事故も毎年のように発生していますし、本校も自転車におけるトラブルが多くあります。一歩間違えば、命に関わることです。くれぐれも注意してください。